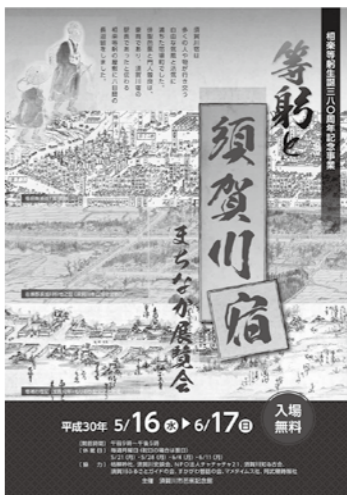


「等躬と須賀川宿まちなか展覧会」を開催

文化振興課 ☎(88)9172



須賀川は古くから俳句が盛んなまちとして知られています。その須賀川の俳句文化の祖と言われるのが、「おくのほそ道」の旅で芭蕉を迎えた相楽等躬です。

「まち歩き」などでひもときながら、近現代へと続く物語として展開していきます。

記念事業の内容は左の表のとおりです。



須賀川(米倉兎・伊達市梁川美術館蔵)

●記念事業一覧

イベント名	内 容
まち絵図めぐり展	江戸～昭和初期の絵図や地図を展示します。時代を経て、移り変わった現在の姿を重ね合わせ、思いを巡らせてご覧ください。 ▶期間・会場 ●5月16日(水)～6月17日(日)・まちなか店舗(市内本町～南町周辺)・芭蕉記念館 ●6月9日(土)～17日(日)・軒の栗ギャラリー
今昔まちなか写真展	歴史と時代の記憶を重ねてきた店舗や住まい、祭事などを絵図と写真で紹介いたします。 ▶期間・会場 ●5月16日(水)～6月17日(日)・まちなか店舗 ●5月22日(火)～6月17日(日)・芭蕉記念館
ギャラリートーク「古老が語る須賀川の今昔」	宿場町や街道、人々の旅情や生活、文化について絵図を見ながら解説します。 ▶日時・会場 5月26日(土) 午前10時～12時・市役所みんなのスクエア ▶定員 50人(入場無料) ▶講師 郷土史家 永山祐三さん
墨彩画「おくのほそ道」米倉兎展	芭蕉とおくのほそ道に思いを寄せた米倉兎さんの未完遺作品のうち、福島に関する作品を展示します。 ▶期間・会場 5月16日(水)～6月17日(日)・芭蕉記念館
等躬さんと須賀川を歩こう! 第1弾	滞在6日目に、芭蕉は芹沢の滝を訪れています。長松院からまちなかを巡り、芹沢の滝まで歩いてみませんか。 ▶日時 5月19日(土) 午前10時30分～午後3時30分 ▶定員 20人(事前申し込み) ▶参加費 1,200円(昼食・保険代) ▶引率・申し込み 文化振興課(5月1日～受け付け)
第2弾	須賀川宿から乙ヶヶ滝に向かった芭蕉の足跡を等躬さんとたどります。 ▶日時 6月16日(土)、17日(日) 午前10時30分～午後3時 ▶定員 各日20人(事前申し込み) ▶引率・申し込み NPO法人チャチャチャ 21 ☎(75)4701
記念講演会	▶演題 「芭蕉と等躬―『奥の細道』とその折の交流を中心に―」 ▶日時・会場 6月9日(土) 午後1時30分～3時・市役所大会議室 ▶定員 100人(聴講無料) ▶講師 和洋女子大学 教授 佐藤勝明さん
まちなか音楽会	▶期日 6月10日(日) ▶会場・演目 ●結の辻・仁井田田植え踊り、古寺山自奉楽 ●軒の栗ギャラリー・箏、昔話
関連事業 第13回芭蕉まつり	野だてや俳句大会などのイベントを行います。 ▶期日 6月10日(日) ▶主催 本町商店会

■市図書館からのお知らせ

「市中央図書館」に生まれ変わります

市図書館では、現在、平成31年1月11日に開館する市民交流センター「tette」への引っ越し移転作業を進めています。

図書館 ☎(75)3309



「まなぶ」フロアの「漫画」コーナーに配置

休館期間とサービス変更

移転作業のため、次のとおり一時休館し、サービスも変更になります。大変ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

休館期間 7月1日(日)～平成31年1月10日(木)

休館期間中のサービスの変更

- ▼図書館の駐車場内で、移動図書館車に積んである本の貸し出しを行います。日程は広報すかがわ6月号でお知らせします。
- ▼当日の新聞と最新号の雑誌(二部)は、中央公民館で閲覧できます。
- ▼住宅地図は、岩瀬図書館、長沼図書館で閲覧できます。
- ▼市図書館にある全ての資料の貸出閲覧、予約、コピーサービス、レファレンス、館内でのお話し会や映画会などの行

現在の市図書館

探しやすいように表示します。

事は行いません。
※岩瀬図書館、長沼図書館、移動図書館の利用などは、変更ありません。

新しい図書館はどんな図書館?

tetteの2階から4階が市中央図書館になります。広さは現在の市図書館の約2.3倍で、約25万冊を収蔵できます。図書館以外のフロアの棚にも本が並べられ、皆さんそれぞれのtetteでの活動の中で、本との出会いが生まれることとなります。

たくさん本に出会って欲しいから

新しい図書館では、現在の世の中の仕組みや、皆さんの暮らし方に合わせたテーマやカテゴリで本を分類します。例えば、漫画も、従来の数字による分類だけではなく、右上の写真のようにフロア名「まなぶ」と表現方法「漫画」といった大きな分類でラベルを貼り付け、利用者の皆さんが探しやすいように表示します。

5月は赤十字運動月間です

—赤十字の活動資金にご協力をお願いします—

日本赤十字社は、海外だけでなく、国内でも、東日本大震災直後の救援・救護活動、その後の復興支援事業、献血事業や命を守る講習会の開催など、幅広い活動を展開しています。活動は、皆さんからの社資(社費と寄付金)によって支えられています。理念と活動をご理解いただき、活動資金へのご協力をお願いします。

社費とは 年額500円以上の協力をいい、日本赤十字社員として登録されます。

寄付金とは 年額500円未満または町内会・行政区一括での協力をいいます。

表彰制度 年額2,000円以上の協力を継続すると、累計額により表彰を受けることができます。

活動資金の募集方法 町内会・行政区を通じてお願いいたします。町内会・行政区の役員が皆さんのご家庭を訪問することもあります。

また、社会福祉課、長沼・岩瀬各市民サービスセンターでも受け付けています。

※企業など団体からの寄付は、日赤福島県支部 ☎024(545)7996が窓口となります。

☎社会福祉課 ☎(88)8111



テープカットでお祝いました

ドッグランもあります

●施設概要

総事業費	約3億4千万円
公園面積	2.3ヘクタール
芝生広場	1.1ヘクタール
公園施設	四阿2棟(災害時には、防災シェルター)、身障者対応トイレ2棟、園路約800m、ベンチ
駐車場	106台(東側47台、北側59台)
防災施設	防災備蓄倉庫1棟、災害時対応マンホールトイレ3基、かまどベンチ4基

▼危険な行為(ゴルフの練習など)はやめましょう。
▼公園内の駐車場は、公園利用者のためのものです。目的外の利用はやめましょう。



オープニングセレモニーでは、第一小児童による鼓笛演奏が披露されました

▼犬のフンは持ち帰りましょう。
マナーを守ろう

平常時には、他の公園と同様に、市民の憩いの場として利用できます。

この防災公園は、東日本大震災と同程度の災害を想定し、防災備蓄倉庫や、災害時の対応施設のほか、ヘリポートなど災害時の一次避難所にもなります。

さらに、防災拠点である市役所と近接する立地特性を生かして、災害時には、物資などの受け入れ拠点などの防災機能を兼ね備えた公園として、国の復興交付金などを活用しながら整備してきました。

■大黒池防災公園が完成

みんなの憩いの場へ

都市整備課 ☎(75)9156

災害時は防災拠点に

大黒池は、農業用水のため池、また、降雨時に雨水を一時的にためる洪水調整池でしたが、雨水管路などの整備と合わせ、池の埋め立てを実施しました。

平成25年度から、防災機能強化のための整備を進めてきた大黒池防災公園が完成し、4月4日にオープニングセレモニーが行われました。